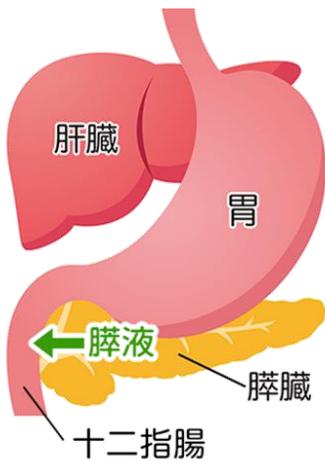


# 膵炎とは

膵臓は胃や十二指腸に沿うように存在し、消化液やインスリンを分泌する臓器です。本来膵臓で作られる消化酵素を含んだ膵液は十二指腸に出た後から活性化され効果を発揮しますが、何らかの原因で分泌前に活性化され、自己消化を起こし、急性膵炎となります。



## 《原因》

ハッキリとした原因は分かっていませんが、高脂血症や肥満、クッシング症候群、甲状腺機能低下症、高カルシウム血症などが関与している可能性が示唆されています。また、脂質の多いものをたくさん食べた後に起こりやす事もわかっています。

## 《診断》

血液検査で膵特異的リパーゼという項目を測定すると診断が付きますが、外注検査のため数日を要します。院内でできるvLIP、CRPの項目を調べることであたりを付けることができます。エコー検査で膵臓を見ることでもある程度の診断ができます。(膵炎は腹痛を伴うため、エコーが出来ない場合もあります)

## 《症状》

- 嘔吐
- 下痢
- 食欲不振
- 腹痛
- 虚脱
- 循環不全を起こすショック
- 黄疸

## 《治療》

### ◆ 内科治療

- 点滴で炎症物質を希釈し、自己消化の進行を食い止めます。嘔吐などによる脱水も補正します。
  - 初期の膵炎に用いる新薬(プレング)を3~5日連続で投与することで早期回復が見込めます。
  - 嘔吐や下痢に対して対症療法を行います。
  - 炎症を抑えるためにステロイドを使用することもあります。
- ※自分で食事を摂れるようになるまでは入院か毎日の通院が必要になります。その後も1~2週間程度こまめな通院が必要です。

### ◆ 食事療法

膵臓の負担を減らすために数日の絶食が勧められてきたこともありますが、現在では嘔吐がおさえられていれば早期に食事を開始したほうが回復が早いとされています。膵臓の本来の働きが弱くなっているため、なるべく負担の少ない低脂肪の食事が大切です。食欲が出ず、自分で食べられないうちは低脂肪の流動食をシリンジで口に入れる《強制給餌》を行います。回復後も膵炎は再発が多い疾患ですので、低脂肪の食事がおすすめです。

※急性膵炎の後膵臓が固くなってしまい、【慢性膵炎】になることがあります。膵臓全体の機能が低下してしまい、インスリンの分泌にも影響します。

糖尿病を併発する可能性が高くなりますので、水をよく飲むようになった、尿の雰囲気が変わった等にご気づきましたら、ご相談ください。

